

平成 30 年 1 月 21 日 議会報告会 意見交換

質疑応答 A 班

Q. 公共施設等総合管理計画について、学校を聖域化し、学校以外の施設で 15% の削減を行うということは難しいのではないか。

A. 現在のところ、教育委員会としては校区の統廃合は考えていないが、1 つの学校の校舎数を減らすという減築は考えられている。学校については減築という方法で床面積の削減を行っていく。

Q. 公共施設等総合管理計画について、思い入れもあるため、古い建物を壊してしまうことに抵抗がある。用途変更や複合化、タイムシェアなど様々なことを考慮の上で活用いただきたい。

A. 以前の議会報告会で秦野市職員の志村氏を招いて勉強会を行った中で、夜間に使わない学校を他の目的で使用するという手法も伺った。今後、そのようなことも視野に入れ、議論していきたい。

Q. 治水対策について、平成 23 年の台風 12 号を基準に考えられているが、それ以上の災害に備える必要はないのか。

A. 議会でもそのような議論を行ったが、どの程度までの対策をするのかは財源との兼ね合いもある。今後、平成 35 年度以降の対策の議論の中で、再度基準をどこに置くのかも議論したい。

Q. 地域包括ケアシステムにおいて、自治会等地域との連携が不可欠と考える。行政が主体となっての研修等を行ってもらえないか。

A. 地域包括ケアシステムは地域との連携が不可欠であり、市もその方向で進んでいる。研修システムの導入や連携のしくみなどもこれから議論していきたい。

質疑応答　B班

Q. 山陽電鉄の高架化について議会ではどういった議論になっているのか？

まだ議論していないのか。

A. 山陽電鉄の立体交差（高架化）については、完成まで 20 年近くを要する長期の事業であり、県が主体となって進めていく事業です。まず事業そのものの可否について調査を進め、実現が可能か否かの検証がはじまります。今後様々な場面で議論を深めていきます。

Q. 新たに都市計画をし直すのか。

A. まだその段階でもありません。今後、調査の上、検討されます。

Q. 新庁舎建設時にもっと障がい者目線での設計に配慮し、丁寧な説明が欲しかった。具体的には明石市が設けている「障害者相談支援センター」を新庁舎内に設けて欲しいと福祉部にも要望したが明確な回答がない。市議会でこれから議論し要望してもらえないか。

A. 今から新庁舎に入るのは難しいと思われる。

要望のセンターについて詳細を把握していないので明確なお答えは出来ないが、福祉の拠点として高砂市にはユーアイ帆っとセンターが設けられた。そちらが妥当と思う。

ご意見を参考に今後、議会の中でも障がい者施策について審議していきます。

Q. 人口減少社会においてこのままでは高砂市は借金だらけの町になってしまうのではないかと懸念する。色々な意見が寄せられているのであればその意見とそれに対する市の考えを公開すべき。

市の人々は聞くだけに終わっている。また高砂市はどういう街を目指しているのか。施設を削減するにしろまずは最終的なイメージを具体的に示し、事を進めていくべき。

A. ご指摘の通りと考えます。今後の参考にさせて頂きます。

質疑応答 C班

- Q. 23年9月の台風12号で近くのポンプ場の電気設備が浸水し、稼働しなかった。十分な検証と対策はどうか。
- A. ご指摘の沖浜ポンプ場をはじめ、数カ所で浸水等による問題が発生し、稼働しなかったが、それぞれ問題点を検証し、改善されている。
- Q. 法華山谷川で大規模な改修工事が進んでいるが、意味はあるのか。
- A. 法華山谷川での工事は県事業として進められており、渇水期しか工事ができず、長期間の工事となっている。河川は自然流下が望ましいので、浚渫や拡幅改修で流量増加を図るなどは必要な工事です。
- Q. 明石市は保育料が2人目から無料になるなど子育てしやすいが。
- A. 高砂市も保育料軽減を検討しているが、国では保育料や高等教育無償化の検討が進んでおり、その動向を見ながら限られた予算の中でのより優れた支援策を提言していきたい。
- Q. ポンプ場を増やしても建設費用と維持管理費用が大きな負担となる。それよりも面的な流量計算をしっかり行なった上で、側溝や排水路などを改修整備すべきだ。
- A. 高砂市の大部分は低地に立地しており、特に高潮時や満潮時には強制的な内水排水が必要になるので、ポンプ場設置にご理解いただきたい。ご指摘の面的な排水路などの改修整備も順次進める計画であり、進捗状況を見ながら今後もしっかり意見していく。
- Q. 転出による人口減少が目立つが、転入してくる人もいる。対策の一つとして、転入者へのアンケート調査も必要ではないか。どのような理由で転入されたのかを参考に、高砂市の良い点を発見することに繋げてはどうか。
- A. 貴重なご意見として承り、当局に提言します。新たな開発住宅地に転入してこられた方々によると、通勤などに便利であることと土地価格が安かったからと言われていた。また、子ども医療の助成もあり、待機児童ゼロや水道料金も安いなど高砂市の良い点を強くアピールするよう合わせ

て提言していく。

Q. 高齢者への支援も充実してほしい。特に、運転が不安で運転免許証を返納しも、それに代わる交通手段がない。他市ではバス代や電車代が半額になると聞くし、コミバスは運行便数も少なく、行けても帰りに困るなど、どうにかしてほしい。

A. 他市ではタクシーデの助成もあると聞いている。コミバスの運行なども含めてしっかり意見していきます。

Q. ハード面だけでなく、ソフト面への投資を充実すべきであり、特に教育にもっと力を入れることが人口減少に繋がると思う。淀川高校の吹奏楽部は有名で、他市や他県からも入学してくるそうだ。特色と魅力ある学校教育を進めてほしい。

A. ご指摘の通り、教育の力が大切であり、提言していく。

Q. 総合運動公園について数点意見しておく。陸上競技場の入口にポスターがベタベタとたくさん貼られているが、掲示板を設置して広報すべき。駐車場も利用者以外の駐車も多く、有料にすべき。また、外灯も暗いし、公園入口の掲示板も小さいなど改善すべき。公園管理にボランティアを活用すべきだ。

A. ご指摘いただいた点について、しっかり提言していきます。